

【対象：大学院医学系研究科修士課程】 (回答数：3人)

(1) 大学院（博士課程又は修士課程）に入ってどう思いますか。

1. 良かった… 2人 2. 悪かった… 0人 3. いずれでもない… 1人

(2) (1) で1と答えた人へ、どんな点が良かったですか。

- ・ 色々な人と出会い、様々な経験ができたから
- ・ 大学時代、福祉を専攻していて医療と福祉は切っても切り離せないと思うし、医学部以外の学生が、医学部の学生と同じ講義を受講できたことはすごい事だと思った。大分大学医学部に来たからこそだと思います。

(5) 修士課程の人におたずねします。授業はどうでしたか？

<良かった授業はありますか？>

1. ある… 3人 2. ない… 0人

<ある場合、それは何ですか？>

- ・ 実習講義全般
- ・ 臨床薬理、薬剤学
- ・ 臨床検査医学
- ・ 遺伝再生医学
- ・ 解剖学
- ・ 人体形態学実習

(6) 大学に対しての要望がありますか？

1. ある… 1人 2. ない… 1人 無回答… 1人

<ある場合それは何ですか？>

- ・ 講義時間変更などの重要な通知をメールで配信してほしい。

(7) 就職、経済的な面等で不安、心配事などがありますか？

1. ある… 0人 2. ない… 2人 無回答… 1人

対象：大学院医学系研究科博士課程（回答数：18人）

(1) 大学院（博士課程又は修士課程）に入ってどう思いますか。

1. 良かった・・・14人 2. 悪かった・・・1人 3. いずれでもない・・・3人

(2) (1) で1と答えた人へ、どんな点がよかったですか。

- ・ チャレンジ精神を維持すること、諦めないこと。その証明、継続力。
- ・ 臨床をしながらではできないような基礎的な実験を、じっくりと行うことができた。
- ・ 医学について臨床面からだけでなく、基礎的な立場から考える時間を得ることができた。
- ・ 研究したかった物ができた。
- ・ 臨床を離れて研究に打ち込める点。
- ・ 実験手技等を習得できた。
- ・ 臨床とは全く違う経験ができます。今後それをどのように生かしていくか。
- ・ 勉強する時間が、まとまって得られたから。
- ・ 新しい分野を勉強する機会をもてた。
- ・ 研究を進める上で、論理展開を組み立てる能力を高めることができると思う。論文の読み書き、統計、英語の勉強などに腰をすえて取り組むことができる時間がある。そして、実験の難しさを知り、また、結果が出たときの喜びは何にも変えがたいものがあると聞く（まだ自分は経験していないが）。新しい発見の背景には大変な苦悩があり、多くの先人達のそのような苦悩があって今の科学があることを、少しだけ実感した気がする。
- ・ 研究が出来る点。違う視点で物事が考えれる点。勉強できる点。
- ・ 医学に関する知識および実験的手法が修得できた。
- ・ 医学部の実験機器が使用できた
- ・ 医学部との共同研究として申請した科学研究費が当たった。
- ・ MD（医者）と交流できた。
- ・ 医学部卒業生ではなかったが、研究室の雰囲気がよく丁寧な助言・指導をいただいた。
- ・ 勉強ができる。
- ・ 臨床医として経験をたっできましたが、大学院での基礎的な実験を通して、臨床ではあまり頭になかった分子生物学の基礎を学習する機会や実験計画をたてる機会を得ることが出来、今後の臨床に役立つと確信しております。

(3) (1) で2と答えた人へ、どんな点が悪かったですか。

- ・ 教授の命令で半分強制の形でいかされ、研究は自分が個人的に進めている医療機械の開発で論文を書けと言われ、正直、体裁をつくらうために入学させられた感が強く、退局にともない退学した為いいところが見出せませんでした。大学側もそういう体質が存在していることを理解しているのではないのでしょうか？差しさわりの無いように皆意見をせざるにすごしていますが、そういう体質もまた大学院の質を落としている気がします。臨床もフルにしていたため、大学院生という実感がまったくありませんでした。

(4) 博士課程の人におたずねします。実践セミナー、大学院セミナーはどうでしたか？

①実践セミナーについて

<実践セミナーで、よかった講義はありますか？>

1. ある・・・ 8人 2. ない・・・ 6人 無回答・・・ 4人

<ある場合それは何ですか？>

- ・ 全部よかったです。
- ・ 西園先生、小野先生、岸田先生、島田先生、加島先生、樋口先生、中野・小手川先生、野口先生（講義ノートに興味深く面白かったと記録していた講義である。特にラボツアーは“百聞は一見にしかず“で有益であった。）
- ・ 再生医療の話。15回と指定されると時間がとられて忙しかった。
- ・ 全く初めての経験ですので、実際の研究を行う際の基本的な考えが、わずかですが勉強になったと思います。しかし実際はやってみないとわからないこともあります。）
- ・ ヘリコバクター・ピロリ感染症の講義。Dr.Marshallを招いての講義。
- ・ 自分の研究の役にも立ちます。
- ・ 基礎系の実験手技などの講義。
- ・ 細胞培養。

(無回答のコメント)

- ・ 勤務の都合上受けられませんでした。
- ・ 覚えていません。
- ・ 参加できなかった。

<実践セミナーで、悪かった講義はありますか？>

1. ある・・・ 0人 2. ない・・・ 14人 無回答・・・ 4人

②大学院セミナーについて

<大学院セミナーでよかった講義はありますか？>

1. ある・・・ 13人 2. ない・・・ 3人 無回答・・・ 2人

<ある場合、それは何ですか？>

- ・ 全部よかったです
- ・ 宇宙医学
- ・ 参加できたものは全て有意義だった
- ・ 第1外科北野教授の腹腔鏡手術についての講義
- ・ 基礎系の実験手技などの講義
- ・ 自分の研究にも役に立ちます
- ・ 内視鏡外科のセミナー
- ・ 内科学2：臨床と研究との接点が聞けて良かった
- ・ 内科学1：留学中に実際ご自分でされた研究の話で身近に感じた
- ・ 自分の分野に関係が無くとも、どの講義もいろいろな側面があり、有意義だったと思います
- ・ 受けた講義は少ないが、それぞれによかった。やはり、その分野の専門知識そのものより、研究の苦労話やどのような論理展開をして結論に達したかなど、経験談を語ってもらった講義がためになった
- ・ 門田教授の緑膿菌に関する講義
- ・ 臨床で疲れて寝てしまったこともありますが、全て興味深いセミナーでした
- ・ 光による神経活動のイメージング—網膜内因生信号計測法—(角田和重)

<大学院セミナーで悪かった講義はありますか？>

1. ある・・・ 3人 2. ない・・・ 11人 無回答・・・4人

<ある場合それは何ですか？>

- ・ 門田教授の緑膿菌に関する講義以外のほとんど
- ・ 臨床系：なぜわざわざセミナーでやるのか自分には分からない
- ・ 中止の連絡が院生まで通達されていなかった

(6) 大学に対しての要望がありますか？

1. ある・・・ 5人 2. ない・・・ 13人

<ある場合それは何ですか？>

- ・ 基礎系の講座で研究できる科はよいがその余裕のない科は、外来・外勤・当直と年を増すごとに悪化しているのではないかと思う。(今までの先輩も似たような状況で頑張ってきたのだからといわれればしょうがないと思うが・・・) 基礎系と臨床系とでギャップを感じます。
- ・ 大学院がもっと活気づくような企画、例えば他大学との交流、色んな分野の人の講演(医学や研究に限らず)など盛んにしてほしい。
- ・ 問題のある体制や体質を改善しなければ大学自体に魅力がなくなり現場で頑張っている医師のやる気も無くなると思います。悪い部分は勇気を持って改善すべきではないでしょうか？僕は大学を魅力のある大学にしていきたいと心から思っていますが、その想いはいつか反映される時がくるのでしょうか？
- ・ 大学院セミナーの講義間の質の格差があり、質が悪いと拍子抜けします。
- ・ セミナーの中止や変更の連絡がないので困る。出席を取るのが幼稚。

(7) 就職、経済的な面等で不安、心配事などがありますか？

1. ある・・・ 3人 2. ない・・・ 15人

<ある場合具体的に教えてもらえますか？>

- ・ 臨床に戻った時、どの分野を専門とすべきかなど、今後の進路について。やはり臨床の遅れは気になる。また、社会人大学院生であるので、収入がある程度見込めるが、一方で、研究時間の制限など、臨床とのバランスが難しいと感じる。
- ・ 子供が二人居るので授業料がやや負担。
- ・ 今後、就職できるのか分からない。